

令和6年（2024年）10月27日

10月27日(日)、小学5年生から高校1年生までの25名が参加し、学園都市センターセミナー室にて「子ども☆ミライ会議 第3回子ども企画委員ワークショップ」を行いました。

11月17日(日)、東京たま未来メッセで開催される「姉妹都市盟約 50 周年記念事業 三都絆祭」の同時開催イベントとして「子ども☆ミライ会議」が実施されます。苫小牧市、日光市の子どもたちもオンラインで参加します。

本番前の最後のワークショップのため、参加した子ども企画委員は、真剣な眼差しで意見交換や作業をする姿がありました。



始めに秘書課担当職員から「三都絆祭」のロゴマークの説明や体験ブースなど、イベントについて話がありました。

次に「子ども☆ミライ会議」本番についての流れを聞いたあと、どのように原稿を作るのかを学んでから、5つのグループに分かれて作業を開始しました。

テーマについて前回までの内容を振り返り、市長や教育長に発表したい意見の内容を話し合いました。

限られた時間内で、本番に向けて発表の準備を進め、グループごとに「原稿作成者」、「発表者」、「資料作り」、「質問回答者」などの役割を決めました。グループによっては、パソコンで調べた資料や、作成したスライドについて工夫を重ねて、資料の完成を目指しました。

発表時間内の原稿にするため、文章をまとめることに苦労していましたが、上級生や学生リーダー、アドバイザーに助けをもらいながら、みんなで協力し原稿を作り上げていました。

後半は、担当する発表箇所の割り振りを決め、本番を想定して原稿を繰り返し読む姿がありました。準備が整ったグループは、リハーサルを行い、ワークショップは無事終了しました。

